

# 第14回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2013)

横小路 泰義\*

\* 神戸大学大学院工学研究科, 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1  
 \* Graduate School of Engineering, Kobe University 1-1 Rokkodai-cho, Nada-ku, Kobe, Hyogo, Japan  
 \* E-mail: yokokohji@mech.kobe-u.ac.jp

JL 0007/14/5307-0641 ©2014 SICE

第14回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2013) は、2013年12月18日(水)～20日(金)の3日間、神戸国際会議場にて開催されました。開催日程は、今後の定着を狙って前回の13回講演会に引き続き、クリスマスより1週早い週といたしました。講演会の規模は、発表件数727件、参加者人数1,174名となり、盛会のうちに無事終了することができました。本講演会に論文を投稿いただきました著者の方々、ご参加いただきました皆様方へ心より感謝申し上げます。

本講演会は、例年通りオーガナイズドセッション方式を採用し、62件のオーガナイズドセッションを企画することができました。また併催行事として2つの一般公開セッションとワークショップおよびフォーラムを各1件ずつ開催いたしました。また、機器展示・カタログ展示には25社にご協力をいただきました。これには兵庫・神戸にゆかりのある企業と公益財団法人に最先端技術のご紹介をいただいた4件の技術展示も含まれています。

特別講演は、兵庫県のご出身でもあるカーネギーメロン大学の金出武雄先生に「米国の大学におけるシステムインテグレーション活動：その要求と実態」と題するご講演をいただき、大変多くの参加者の方々にご聴講いただきました。システムインテグレーションの活動を活性化するには、そのための仕組み作り(評価を含む)が大事であり、システムインテグレーションを標榜するSI部門にもまだまだやるべきことがあるのではないかと、強いメッセージをいただいたように思います。金出先生のご講演は参加者の方々に相応のインパクトを与えたようで、その意味でもSI部門講演会の特別講演としてはきわめてふさわしいものとなり、実行委員長の立場としましても、金出先生を特別講演者としてお迎えすることができ大変うれしく思っております。

今回の講演会では、いくつかの新たな試みを行いました。まず、講演論文集の媒体をこれまでのDVDからUSBメモリに変更しまし

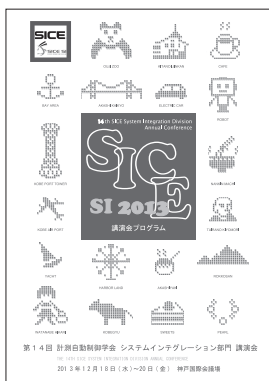


図1 SI2013 プログラム冊子の表紙デザイン



図2 懇談会冒頭での鏡割り(金出先生, 副部門長(当時), プログラム委員長, 次期実行委員長とともに)

た。講演論文集の媒体のUSB化は国際会議ではよく見られるものの、コストの制約などから国内の講演会ではまだ例が少なかったのですが、これまで講演概要集として配布しておりました冊子体から講演概要を削除して単なる講演会プログラムとさせていただくことでコストカットを図りながらなんとか実現に踏み切りました。USBメモリとすることでお手もちのノートPCなどから手軽に講演論文をご覧いただけるようになりましたが、参加された皆様が有効にご活用いただけたのかぜひ感想をお聞かせください。

つぎに、皆様お気づきのように、講演会プログラムの表紙デザインに趣向を凝らしました(図1参照)。これは、講演募集のフライヤーのデザインの段階からお願いしていた大阪芸術大学の学生さんによるデザインです。このデザインはUSBメモリにもあしらわれ、本講演会の各種案内看板などにも展開されて、最終的には本講演会のテーマデザインのようなものになりました。

最後になりましたが、本講演会のセッションを企画いただきましたオーガナイザー各位、プログラム委員各位、講演会開催のご支援を賜りました中内力コンベンション振興財団、神戸市、神戸コンベンションセンターに心よりお礼申し上げます。また本講演会の開催に向けて長期間にわたる企画準備と開催期間中の運営を担当いただきました実行委員会の皆様方に、心より感謝の意を表したいと存じます。

なお次回の講演会である第15回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2014)は、2014年12月14日(日)～17日(水)の4日間、大隅久実行委員長(中央大学)のもと、東京にて開催予定となっております。皆様のご参加をお待ちしております。

(2014年4月21日受付)